

- 1 学校経営
 - 生徒、保護者ともに「入学して良かった」と感じている。
 - 学習と班活動との両立に対する生徒の理解や、保護者の満足度はやや低いものとなっている。「文武」の定義づけの確認、令和3年度に策定したスクールポリシーの周知を図り、それらを柱とした教育の実践に注力していく。
- 2 学習指導
 - 学習への取組に対する生徒の自己評価が低くなっている。質問項目の修正も含め、生徒の実態がより理解できるよう精査していく。
 - 学習指導要領に即した到達目標等を定期的に見直し、授業計画や評価の実施について修正を図っていく。
 - 研究授業や公開授業、授業アンケート等を効果的に利用しながら、授業改善に継続的に取り組んでいく。
 - 1人1台端末のさらなる有効な活用方法について、研修を深める。
- 3 生徒指導
 - ホームルームや班における仲間づくりを今後も重点的に進めていく。
 - 日常における丁寧な生徒観察や担任との面談等を通して、より生徒の実態把握に努め、生徒自身の自己実現が図れるよう十分な支援に努めていく。
- 4 進路指導
 - 生徒が高い志を持ち続け、主体的な進路選択が可能となるよう、担任との面談や進路講演会等の取組により支援していく。
 - 進路説明会、PTA研修会、保護者会等を通じて、生徒だけでなく、保護者にも本校の進路指導における方針についての理解が深められるようにする。
- 5 特別活動等
 - 「学習と班活動が両立できている」という質問項目については、生徒・保護者ともに肯定的な回答が低くなっている。
 - 「文武」の定義づけについては、質問項目の修正も含めて、検討する余地があると考える。
 - 生徒自身が学習と学習以外の活動（班活動、生徒会活動、ホームルーム活動、校外での活動等）と両立することができるよう時間の使い方等、自身の生活をセルフコントロールする能力が高められる指導を講じていきたい。
- 6 学校図書館
 - 「本と触れ合える場」とどまらず、生徒たちが自然と集える居場所としての機能も果たしていく。
 - 「図書館だより」の発行や館内特設コーナーの設置をはじめ、学校HPや公式Instagramでの情報発信により積極的に取り組んでいく。
- 7 保健・安全指導
 - 教育相談については、担任や学年団、養護教諭だけでなく、スクールカウンセラーや校外における相談窓口を積極的に活用し、生徒や保護者がいつでも相談できる体制づくりをさらに進めていく。
 - 学校安全や学校防災への取組をさらに進める必要がある。生徒や保護者と危機管理の意識をさらに共有していかなければならず、特に学校防災については、PTAや地域との連携をより深めていく。
- 8 人権教育
 - 3年間を見通した体系的な人権教育計画に基づいた教育活動を進めていく。
 - 生徒の主体的な取組や講演会、アンケート等を通して、生徒の実態把握に努め、正しい理解に基づいた人権意識の一層の向上をめざしていく。
- 9 環境教育
 - 環境美化を意識し、日常の清掃活動をより一層充実させるとともに、地域での清掃活動にも積極的に取り組む意識を向上させていく。
 - ゴミ問題をはじめとする環境問題について、各教科・科目や学校設定教科「探究」における学習とも関連づけながら意識を高めていく。
- 10 事務・管理
 - 安心安全な環境づくりのために、日常からの継続的安全点検や確認作業、また経年劣化している施設や設備の修繕に取り組んでいく。
- 11 その他学校の取組
 - 学校HPや公式Instagramのさらなる有効活用の方策を探っていき、積極的に本校の良さを校外に発信していく。